社会福祉法人 宝達志水町社会福祉協議会 社協だより
News from hodatsushimizu council of social welfare

福祉ほうだつしみず

お互い様で 助け合える あったかいまち

目　次

2…支え合える地域づくりを目指して
3…赤い羽根共同募金活動紹介
3…助成事業公募のお知らせ
4…第14回 宝達志水町社会福祉大会
5…おしえて！主任児童委員の活動
6…老人福祉センター「宝寿荘」
6…大学生がつなぐ地域の輪in所司原
7…ケアマネの部屋
7…押水デイサービスだより
8…お米がつなぐ地域の輪in宝達志水町
8…第１回宝達志水町地域福祉活動計画策定委員会を開催しました
8…今月の表紙
北大海第一保育所「なかよし発表会の様子」

Vol.66
2022.1.25

この広報紙は、発行費の一部に「共同募金の配分金」を受けて発行しています。

令和4年 新年のご挨拶

宝達志水町社会福祉協議会　会長　米谷 勇喜

支え合える地域づくりを目指して

皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より本会の活動にご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本会事業の推進にあたり、新型コロナウイルス感染対策の行動制約は、地域における人と人との繋がりに重きを置く活動には大きな障害となっております。

また、本会が運営する介護保険、保育所、宝寿荘などの各施設においても、厳重な感染対策を実施するとともに、利用者の皆さんにもご協力を頂き、ご不便をおかけしております。

今後とも、安全で安心して利用できる施設として、また、常に利用者に寄り添ったより良いサービスの提供に心がけて、運営してまいります。

さて、「地域福祉活動計画」についてですが、令和4年度中の策定に向け、昨年12月に第一回の策定委員会を開催しました。

その検討資料とするため、住民アンケート調査、そして、コロナ禍のため地域座談会に代えて団体等ヒアリング調査を実施したところ、多くの皆さんにご協力を頂き、貴重なデータを得ることができました。ここにお礼申し上げます。

さらに民生児童委員と主任児童委員の皆さんには、実際の福祉活動における問題点や課題について情報を頂くこととしております。

こうした調査により、地域状況や住民ニーズの把握に努め、問題点を精査し対応策の検討を進め、さらなる地域福祉の向上に資する計画となるよう策定を進めてまいります。

地域福祉のさらなる推進のため、住民による支え合い活動による地域共生社会を実現し、そして、誰もが安心して暮らせる社会を目指し、本会役職員一丸となって取り組んでまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和3年度 赤い羽根共同募金活動紹介

昨年10月1日から12月31日までの3か月間にわたり、赤い羽根共同募金運動を実施しました。区長さんをはじめとした区民の皆様、町内の小中学校及び高等学校の生徒さんによる学校募金等、多くの方々のご協力により、たくさんの募金が寄せられています。最終的な募金の額はただ今集計中ですので、次号の本誌（4月発行予定）にてご報告いたします。今回は募金に協力していただいた町内学校の皆さんの活動を紹介します。

11/25 押水第一小学校

←代表委員6名で11月5日～9日まで、募金活動をしていただきました

12/2 宝達小学校

→代表委員10名で11月24日～26日まで募金活動をしていただきました

12/14 相見小学校

←学級代表18名で11月24日～26日まで募金活動をしていただきました

12/17 樋川小学校

→代表委員6名で12月2日～7日まで募金活動をしていただきました

12/24 志雄小学校

←運営委員9名で11月18日～24日まで募金活動をしていただきました

業務スーパー 押水店にて 10/15

本会職員による街頭募金

生鮮館 ちゃれんじにて 10/15

歳末たすけあい募金

昨年12月1日から31日までの1か月、皆さんからの封筒募金や企業からの企業募金等、たくさんのご協力をいただきました。詳細は、次号でご報告いたします。この募金は民生委員の協力を得て、町内出身者で施設入所されている方への見舞金や在宅で介護をされているご世帯への介護慰労金として贈呈しています。

↑施設入所の方へお渡しくださいと見舞金贈呈の様子
宝達苑玄関先にて

令和4年度 赤い羽根共同募金 助成事業公募のお知らせ

1 助成目的

この事業は、宝達志水町共同募金委員会が、赤い羽根共同募金を財源とし、地域の課題解決に向けた活動に対して助成を行うものです。

2 対象事業

町内で活動するボランティアグループ、区長会、学校、特定非営利活動法人等が実施する、地域の課題に応える福祉サービスや活動を対象として助成します。ただし、他の財源を以って実施することが適当と認められる事業は助成対象とはいたしません。

（1）高齢者を対象とする活動（例：配食サービス、友愛訪問等）
（2）障がい児・者を対象とする活動（例：交流会等）
（3）児童を対象とする活動（例：読み聞かせ等）
（4）小学校、中学校、高等学校、ＰＴＡが取り組む福祉活動（例：福祉に関する講演会等）
（5）自然災害に関する活動（例：防災訓練、勉強会等）
（6）先駆的、開発的、創造的な活動
（7）その他目的達成のために必要な事業（例：三世代交流事業等）

3 助成金額

（1）１団体１事業　５万円以内
（2）配分総額と応募数によって申請額どおりに助成できないことがあります。
（3）５年連続で助成を受けた団体は、応募多数の場合は助成対象外となることがあります。

4 申請期間　令和４年２月２５日(金)まで

5 お問い合わせ先　宝達志水町門前サ１１番地　町民センターアステラス内
宝達志水町共同募金委員会（宝達志水町社会福祉協議会内）
ＴＥＬ：２８-５５２０　ＦＡＸ：２８-３１１２

第14回 宝達志水町社会福祉大会

昨年10月26日、町民センター「アステラス」小ホールにて第14回宝達志水町社会福祉大会を開催いたしました。

当日は、長年にわたり社会福祉事業に功績のあった43名のみなさまに、米谷勇喜本会会長より表彰状が授与されました。

表彰を受けられたのは、次の方々です。まことにおめでとうございました。

（順不同・敬称略）

【保育職員】
表　寿美子
久保さおり
小酒　由佳

【遺族部会】
小山　朋子
松森　秀子

【身障部会】
藤本　信雄
中島　和夫

【老人部会】
高畠　啓泰
南　敏昭
針田　務

【社会福祉施設職員】

（四恩会）
岡本まさえ
稲田　恵
室谷　健一
伊佐名美幸
備後　美穂
北野　夏代
矢尾　隆一
竹津　美紀
永藁由里子
中村　睦子

（こうけん会）
谷口美由紀
岡部　良江
大谷ゆき子
坂本　幸子
源長久美子
福岡　幸
南條さおり
木下　裕美
中永　恭子
岡崎　真也
岸　恵
寺内　良美
桜井　昌子
山本　良美
砂原　祐子
大灘　恵

（レインボースター）
鋪村奈美子

（渚　会）
中山　慎士
横山　友里
中谷小百合

（聖ヨハネ会）
安達真理子

（宝達志水町社会福祉協議会）
三浦　志朗
関　志津香

被表彰者を代表して表寿美子さんが謝辞を述べられました。

おしえて！
主任児童委員の活動

宝達志水町の皆さん、こんにちは。私たちは、主任児童委員です。かねてより、「どんなこと（活動）をしているの？」というご意見が多くありましたので、日ごろの活動などについてお伝えします。

民生児童委員の中で、主に0歳児から18歳の児童について関わるのが主任児童委員で、現在、町内全域を4名で担当しています。

主な活動に、認定こども園や学校訪問があります。主任児童委員は第三者委員を兼ねておりますので、各保育所長、小中学校長と面談し、子どもたちが困っていることなどがあれば、必要に応じて専門機関へつなぐこともあります。昨年度より、〝人権〟について考えるきっかけになることを願い、6年生全員に「マンガで考える身近な人権」という冊子を配布しています。

また、乳幼児健診での補助活動もしており、子どもの様子を直接見守る機会となっています。

←全6年生に配布した冊子

その他、11月の「児童虐待防止月間」では、文化祭の折に、関連グッズやチラシを配布し、予防啓発活動を行っています。

地域の民生児童委員と一緒に行う活動に「こんにちは赤ちゃん事業」があります。赤ちゃんが生まれたお宅を訪問し、お祝い（図書カード）や子育て支援のパンフレット等をお渡しして、育児の様子を伺っています。

また、「グッドマナーキャンペーン」では、登校する児童にあいさつを通して、マナーの大切さを呼びかける中で、児童の元気なあいさつに私たちもパワーをもらっています。

町の宝である子どもたちが、一人ひとり笑顔で日常を過ごせるよう、地域の民生児童委員とともにサポートを続けていきたいと思います。

乳幼児健診の補助活動のようす
子どもがリラックスできるよう歌などで場を和ませます

宝寿荘は ①健康づくり ②生きがいづくり ③仲間づくり を応援する憩いの場です。

老人福祉センター「宝寿荘」☎28－4506

つるし雛を募集します

募集期間 1月25日(火)～2月10日(木)
(月～金　9:00～16:00)

宝寿荘で、つるし雛(飾り)の作品を展示しませんか。
展示期間は、2月4日(金) ～3月31日(木)まで。展示見学のみの方は無料です。
期間中は、宝寿荘に来たことがない方も、この機会に是非お立ち寄りください。
お待ちしております。

SDGs「フラワーアレンジメント教室」を開催しました

12月23日(木)に町内で栽培している石川県オリジナル品種のフリージア「エアリーフローラ」の規格外を利用し、開催しました。講師の口野幸子さん(敷浪在住)に指導を受け、参加者は「体験してみたかったの！」と満足そうでした。

クリスマスお楽しみじゃんけん大会で盛り上がりました

コロナ禍であり、年忘れお楽しみ会（演芸会）の開催も困難なため、今年はじゃんけん大会に変更しました。
12月15日(水)から5日間開催し、毎回5名に景品をお渡ししました。景品(花)をもらった人は「宝寿荘へ来たら、よいことがあったね！お仏壇にお供えするわ。」とニッコリ嬉しそうでした。

町内在住で大学4年生の松田真奈さんが、卒業論文を書くにあたり、山間地域の高齢者の生活に関心を持ち、所司原に在住の5名の方にインタビューを行いました。社会福祉協議会では、松田さんのインタビューのお手伝いをしました。

大学生がつなぐ 地域の輪 in 所司原

山間地域の魅力に迫る！

インタビューは、一人あたり30分程度行い、山間部での生活の様子や、所司原の魅力などをたくさんお話していただきました。
インタビューを受けた方は「自分のことや所司原のことを聞いてくれたことで、自分の人生を振り返るきっかけを、松田さんが作ってくれました。松田さんには感謝の思いでいっぱいです。」と話されていました。

【松田さんの感想】
地域に対しての思いや生活の様子など、色々なお話を聞かせていただきました。みなさんの所司原での生活の様子が充実していて、楽しそうに話す姿が印象的でした。
インタビューにご協力いただいたみなさん、社会福祉協議会のみなさんに感謝しています。本当にありがとうございました。

↑新型コロナウイルス感染対策のため、距離を保ちながらお話を聞きました。

↑所司原会館をお借りしてインタビューしました。

ケアマネの部屋

ケアマネジャーは、支援が必要な方に対して介護保険サービスを適切にご利用いただけるよう、ご本人、ご家族、関係する事業所等と相談して支援内容、目標を決めてケアプランを作成しています。

宝達志水町社会福祉協議会のケアマネジャーが、前６カ月間に作成しているケアプランに位置付けられるサービスの利用割合をご紹介します。８割を超える方が、デイサービスをご利用しています。次いで５割超える方が福祉用具をレンタルされている状況です。このように介護サービスを利用し、住み慣れた家で安心して暮らしておいでます。今回は、福祉用具のレンタルについてご紹介します。

福祉用具とは、車いすや歩行器、介護用ベット、手すり（工事を伴わないもの）などがあります。

自分でなかなか起き上がれない。介護用ベットを借りたおかげで、自分で起き上がりが楽にできるようになったわ。

ご利用者の声

要介護度によって、レンタルできる用具が異なります。詳しくはケアマネジャーにご相談ください。

転んで足を骨折してしまった。車いすを借りて、家の中も移動しやすく調整してくれて助かったわ。

福祉用具を利用することで、自立した生活ができるようになるメリットがあります。また、骨折などで一時的に手すりや歩行器などが必要になることもありますが、不要になれば返却できます。介護保険を利用すると、実際にかかった費用の１～３割の自己負担になります。

押水デイサービスだより

謹賀新年

明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナの影響が続く中でしたが、皆さんで和気あいあいと元気に過ごすことができました。本年も、より一層のご支援を賜りますよう職員一同心よりお願い申し上げます。

これからもよろしくね☆

今年も元気に過ごしましょう☆

レクリエーション

昨年も様々なレクリエーションで体を動かしたり、素敵な作品を作って頂きました。今年も一緒に笑顔でたくさん楽しみましょうね。

キレイにできるかな☆

真ん中に当たれ～☆

お米がつなぐ 地域の輪 in 宝達志水町

地域の方の「このお米、何か役に立たんかね？」の声をきっかけに、フードドライブ（お米の寄付）を募ったところ、たくさんの方からお米の寄付をいただきました。寄付していただいたお米は 12 月 19 日～ 24 日に、フードパントリー（お米の配布会）を行い、食に不安を抱えている世帯へお渡ししました。

フードドライブ(お米の寄付)報告

- 寄付いただいた人数　１４名
- 寄付いただいた団体　１団体

計1530kgのお米をいただきました。

フードドライブの案内をしたところ、地域のたくさんの方からご寄付をいただきました。また、金沢市にある大智株式会社さんからもたくさんの寄付をいただきました。寄付してくださった皆様、ご協力ありがとうございました。

↑地域の方の思いがつまったお米です。

こんなご時世だからこそ、困っている人や、必要としている人の手にお米が渡ることによって、町中が元気になってもらえれば、私達も大変嬉しいです。

寄付していただいた方の感想

→大智株式会社の従業員の方が、お米を運ぶのを手伝ってくださいました。

フードパントリー (お米の配布会)報告

２３世帯が利用しました。

大げさかもしれませんが、お米さえあれば生きていけます。保育所には、お米を持たせますし、小学生も食べ盛りなので、お米はたくさん必要です。本当に、ありがとうございます。

お米を受け取った方の感想

第1回宝達志水町地域福祉活動計画策定委員会を開催しました

さる12月13日、町民センター「アステラス」にて、今後の地域福祉の取り組みの方向性や目標を示し、福祉のまちづくりを継続的に推進する「第2次宝達志水町地域福祉活動計画」を策定することを目的として、「第1回宝達志水町地域福祉活動計画策定委員会」を開催しました。

今回の策定委員会では、策定委員への委嘱状の交付、委員長・副委員長の選出を行った後、北陸学院大学教授の田中純一委員長に本会会長から諮問書が手渡されました。

その後、計画策定の趣旨及び策定までのスケジュールや住民アンケート・団体等ヒアリング調査報告などについて説明し、委員の方々よりご意見をいただきました。

今号の表紙

北大海第一保育所 なかよし発表会の様子

ちゅうりっぷ組
衣装をつけて
ハイ！ ポーズ!!

すみれ組
お弁当の
具材に
変身！

なかよし発表会（劇）

さくら組（表紙上段）　「ふくろうのそめものや」子どもたちの遊びから始まった影絵も劇に取り入れました

つくし組（表紙下段）　可愛いタヌキちゃんの衣装で登場で～す♡